

デフレ克服優先すべき

古屋さん、石毛氏が街頭で訴え

民主は年金案を取り下げよ

党神奈川県本部

公明党神奈川県本部 党が掲げる年金の抜本は26、27の両日、県内各地で街頭演説会を行った。

このうち、横須賀市でマイクを握った古屋範子衆院議員は、民主

「べきだ」と述べ、民主党政権の無責任な姿勢

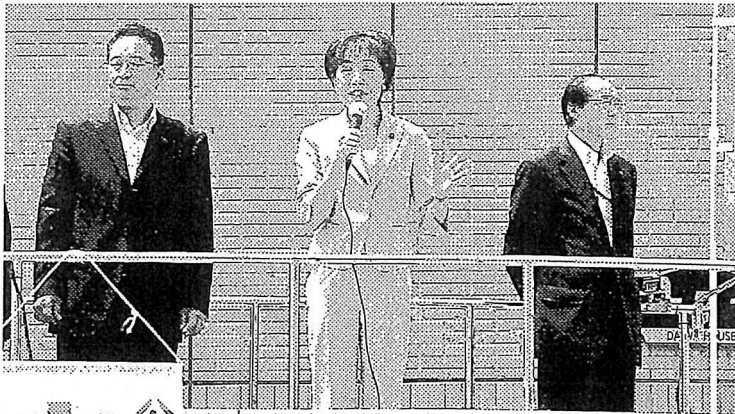
を批判した。

また、公明党がかねてから強く主張していた子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、小児用肺炎球菌の3種の予防ワクチンについて、厚生労働省

の予防接種部会が優先して定期予防接種に加える提言をまとめたことに触れ、「世界の中心でも遅れているわが国のワクチン行政を、これからも強力に押し進めていく」と力説した。

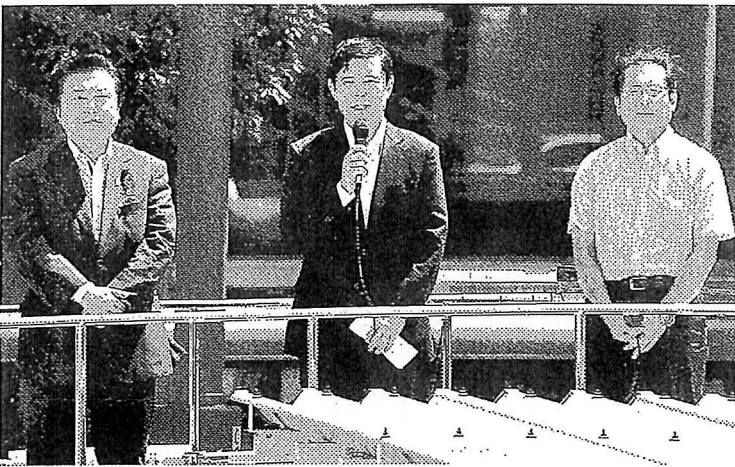
一方、藤沢市で街頭に立った石毛宏幸・党市民活動局長次長（次期衆院選予定候補）は、南関東ブロックは、消費税増税論議に関して「景気が悪い中で消費税を上げても税収は上がらない。デフレ克服こそ優先すべきだ」と主張した。

さらに、老朽化した社会資本の再整備を10年間で100兆円を掛けて集中的に行う「防災・減災ニューディール」を公明党が提唱していることに言及。これによって100万人の雇用創出をめざすと強調するとともに、「経済の活性化に向けて必要なデフレ、雇用対策に全力を尽くす」と訴えた。



無責任な民主党政権を糾弾する

古屋さん



デフレ、雇用対策を訴える

石毛氏